

# たじまことば

## 岡田莊之輔

### 一、まえがき

本州を横断して内海と日本海とをつなぐ大縣は兵庫縣のみである。中央を中國山脈が東西に走って、南が山陽道播磨國、北が山陰道但馬國である。はりまが上方振りであるに對し、たじまは出雲の流れをくみながら、しかも次第に南や東から上方の影響をうけつつある。

たじまことば地図、町村番号表 エジツクは町  
美方郡

- |                                    |        |       |        |        |       |       |
|------------------------------------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 1 西浜                               | 2 浜坂   | 3 大庭  | 4 温泉   | 5 照來   | 6 八田  | 7 射添  |
| 8 小代                               | 9 村岡   | 10 兎塚 | 11 熊次  |        |       |       |
| 城崎郡 昭和二十五年四月23、25、26、27合して豊岡市となった。 |        |       |        |        |       |       |
| 12 餘部                              | 13 長井  | 14 香住 | 15 口佐津 | 16 奥佐津 | 17 竹野 | 18 中  |
| 竹野                                 | 19 奥竹野 | 20 港  | 21 城崎  | 22 内川  | 23 五莊 | 24 奈佐 |
| 25 豊岡                              | 26 新田  | 27 中筋 | 28 國府  | 29 八代  | 30 日高 | 31 三方 |
| 32 清滝                              | 33 西氣  | 34 三椒 |        |        |       |       |
- 出石郡

- 35 神美  
養父郡  
36 小坂  
37 出石  
38 室埴  
39 合橋  
40 資母  
41 高橋

- 42 伊佐  
屋  
43 宿南  
44 八鹿  
45 高柳  
46 關宮  
47 口大屋  
48 大  
50 南谷  
51 建屋  
52 廣谷  
53 養父  
54 糸井  
55 大藏

- 朝來郡  
56 和田山  
57 東河  
58 梁瀬  
59 粟鹿  
60 與布土  
61 竹田  
62 中川  
63 山口  
64 生野

### 二、音韻脱落

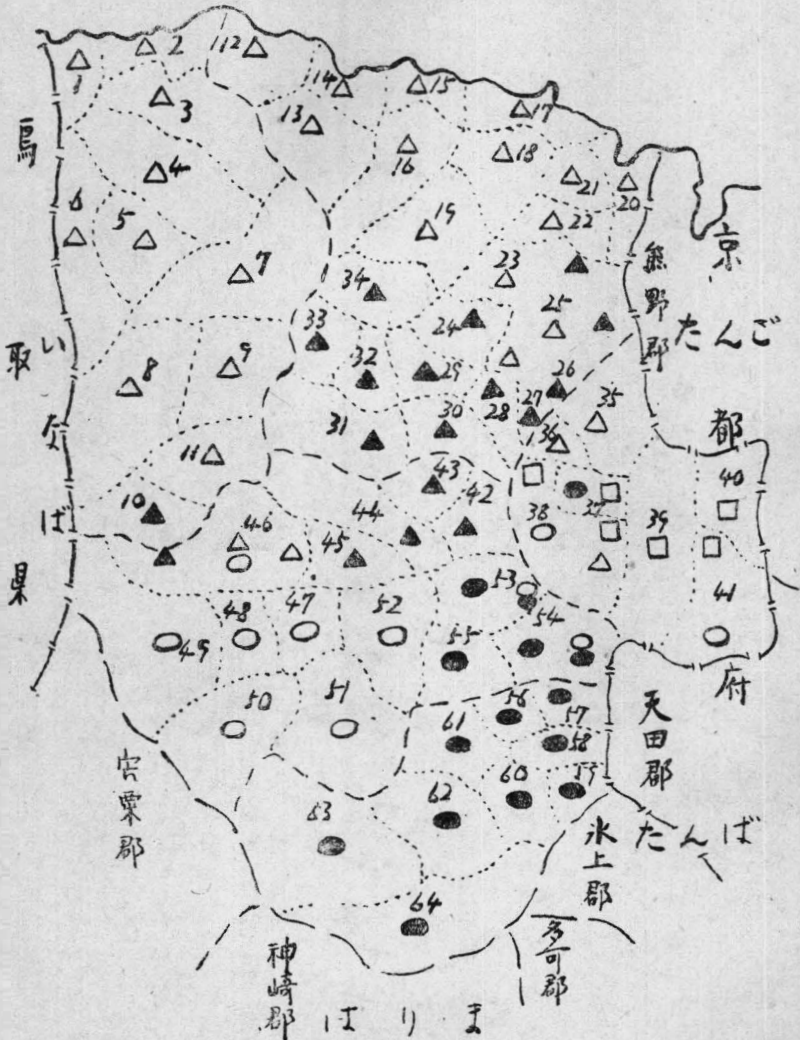
「出石かんじゃ町、蛇が出るそおじゃが、うそじゃか、ほんじゃか、知らんじゃが」と言う歌があり、又「久畑谷には」と似た歌がある。

(この「ジャ」は断定助動詞其他に用いる「ダ」と同じもの)  
37 出石町や室埴村かじゃでは「ジャ」はすでに老人の用語で、青壯年は「ヤ」に変わっており、41 高橋村字久畑はやはり「ジャ」を用いている。

たじまことば 1回

あれは山であろうの意味で

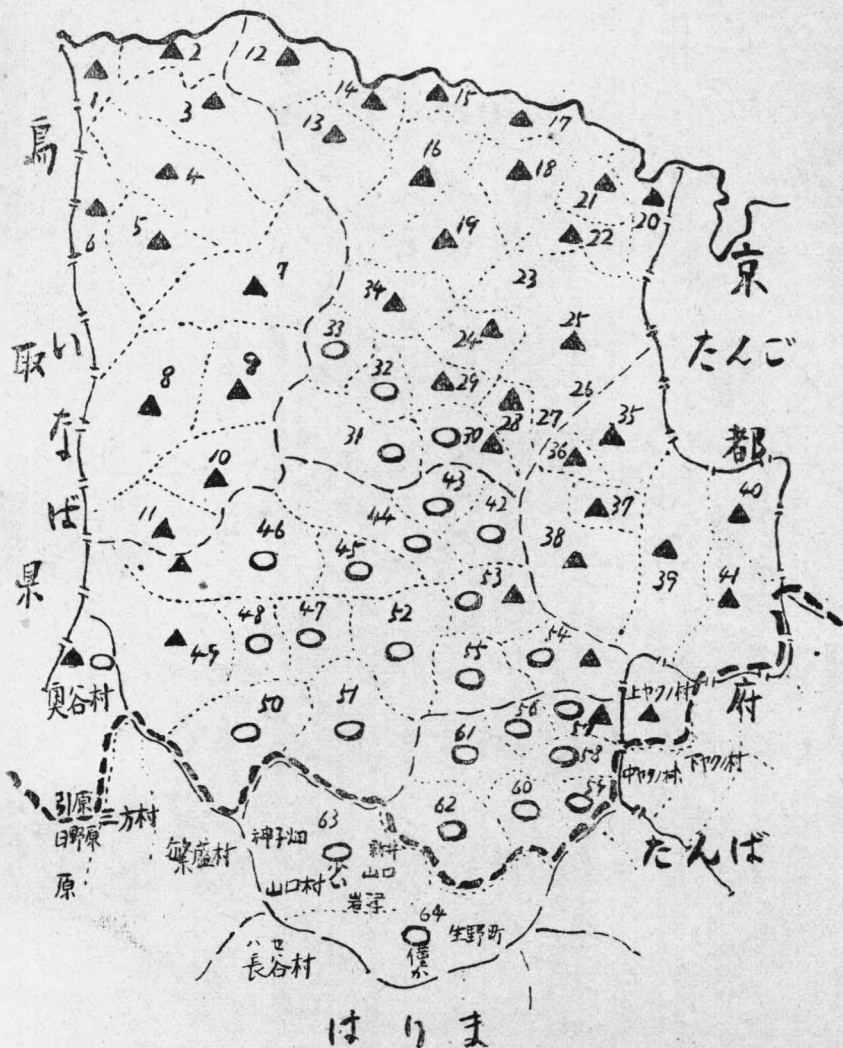
山だらあ △	山じやろお ○
山んだらあ ▲	山やろお ●
山だろお □	



たじまことば 2回

a:i 連母音の同化 { a: ▲  
e: ○

77セント境界線 - - -



養父郡大屋谷49—52は「ジャ」の本場で

「大屋のじゃげなは蛇が出たじゃげな、大きなじゃげな、うそじゃげな」

「ジャ」の北に「ダ」南に「ヤ」が行われている。(第一図)

「ヤ」を常用する朝來郡でも北では老人層に「ジャ」が用いられる。矢は東寄りに北に進んで蛇を東西に分ち、「ダ」の線に食止められている。44八鹿町は養父郡の中心都市で53矢52蛇との交通も激しいのに「ダ」を保っている。46関宮町字関宮は48の影響でダラア、ジャロオを併用している。

38室植は地形複雑でことばも多様である。

北で、行クダラア、ダロオ、ジャロオ、ヤロオと尻重なアクセントが南下して44生野では行クヤロオと軽くなる。

煎餅 センベ全たじま、 太郎 タロ散在、 食べ物 タベ

モン1—63、 螟虫 ズムシ散在、 我家 ワガエ・ワゲ養父

以北散在、 この間 コナイダ6364、 コニヤアダ・コネエダ

1—62、 それから シエエ(セエ、ヘエ)カラ美方・城崎、

ソエカラ養父、ヘエ(ホレ)カラ朝來、 そのような、 ソニ

ヤアナ美方南・城崎南・出石西、ソネエナ 養父南散、ソネエ

ン3132、 ソギヤアナ美方・城崎北、ソングナ17、 ソンギヤ

ナ18、 シャアナ美方・城崎北、ソヤアナ城崎北、シエテナ美方

北・3247、 ソンナ城崎東・出石・養父・朝來、 これだけ

コエダケ1—63、コンダケ8・城崎東・出石東・養父北・64、

どれだけ ドエ(デエ)ダケ全、ドンダケ城崎東と南・出石

北・朝來北・64、 涼しい スウシイ全 賑やかい ニガ(コ

イ、コエ、ケエ)キャア1—62、 置いてある オイタル全、  
附けておる ツケトル全、 降っているけれども フットルケ  
ド全、 行ってみるといふと、 ミルチュウト美方・城崎・出  
石・養父、ミルチュウト出石・朝來、 ミタラ全 行くといふと  
イクツチュウト1—60

塩 ショオ養父以北、 心は ココラア養父以北散在、 今  
度は コンダ全、 今度こそは、 コサア養父以北、 知っては  
いるが、 シツチャア全、 知ツトルケド全、 何もしはせん  
シヤアヘン美方・城崎・出石西と北・養父・西と北、 サアヘン  
15字沖浦、セエヘン城崎東と南・出石南と東・養父・朝來、  
シイヘン城崎養父散在・朝來、 スリヤアヘン美方北・城崎

北・出石点在・養父北・朝來北、スラアヘン1字居組、シリヤ  
アヘン朝來以外点在、 何も知りはせまい、 シリヤア美方・城  
崎・北散在・朝來北点在、 シレエ城崎南養父北に散在、シレ

城崎東・出石・養父・朝來、 シラヘメエ(マヤア)散在、  
シラヘンヤロ64、足りはせん タリヤア美方・城崎海岸・養父

西、タレ城崎南・出石・養父西・朝來北、 タラ出石東・朝  
來、タリ出石南、朝來北、 白いのは シレエナア美方・城

崎・出石北・養父北と西、 檢るのは ナア1—63、 ソワ点  
在、ソソワ城崎北東・養父東・朝來北

酒を、サケエ1—61、 サキヨオ、美方南・13143137・養父  
西、 錢を、ゼニヨオ美方南・養父北、 ゼニユウ8495、

鳥を、木を、トリイ全、 トリヨオ散在、 トリユウ美方南・  
18・城崎南西・養父北と西、 荷物を、ニモツウ1—62散在、

ニモツオオ1ー62 魚を サカナア全、 返事を ヘンジュウ美方南、ヘンジイ他、 犬を イヌウ全、 手を テヨオ美方南、テエ他、 味噌を ミソオ全、手紙を テガミユウ美方南、 テガミイ他、 歌を ウタア美方・城崎・養父西と北・出石西と北

呼びに ヨビイ美方南・城崎南・出石・養父・朝來北、 豊岡に トヨオカア美方北・城崎・出石・養父北、 トヨオキヤア美方南 遊びに アソビイ1ー62、 借れに カレエ全、 けに(助詞)ケン1字居組、 あなた アンタ全

行けば イキヤア、読めば ヨミヤア美方・城崎・出石西と北・養父西と北、 ヨンダラ全、 寝れば ネリヤア全、 ネヤア点在、 出来れば デキ(デケ)リヤア全、 デキタラ出石東・64、 行きたければ イキタケリヤア全、 イキタケラ城崎出石養父に散在・朝來

行きて イキテ1ー9・12ー32・出石西、 イテ美方南・城崎・南西養父・朝來点在 イツテ全  
逃して ニガイテ64・41字久畑、 ニギヤアテ・ニゲエテ他、 落して オトイテ64・41字久畑、 オテエテ他

新しく、 シイテ1ー9城崎・出石・養父東、 シュウテ11 12 30 34出石南西・養父・朝來、 涼しくて スズシイテ1ー9・城崎・出石・養父東、 シュウテ8・10・11・城崎南西・37 38・養父・朝來

長くて ナガアテ美方・城崎・出石・養父北・及び51、 ナゴオテ出石散在・養父南朝來

早くて ハヤアテ美方北・城崎北・出石北、 ハヨオテ美方北散在・美方南・城崎南・出石南と東・養父・朝來、 無くテ ナアテ美方・城崎・出石西・養父北、 ノオテ出石・東養父南・朝來

勉強しなざる、 シナル美方北・城崎・出石・養父東と南・朝來、 シンサル美方南・城崎南・養父北と西・出石、 シナハル美方北・城崎北・朝來 見ておいでなさい、 ミトンネエ(ナヤア)養父西を除き全、 ミトンセエ(サヤア)美方南・養父西、 ミトンナレ散在、 トンサレ点在

三、音韻添加

追う ボウ1ー62、おうばこ ヨオバコ美方・城崎、 子供等 コドモ(イラ)エラ、コドメエラ全 此処等 ココ(イ)エラ、 コケエラ、ココラア全

勳詞に音節添加して 下忘レル全、 ネジリ(ネジクリ) マス美方北・城崎北、喋ベクル美方北・城崎北と東、 出石散在・養父西点在・朝來北、 教シ(オソ)カエル美方北、 騙マクラカス美方北・城崎北・出石西・養父北・朝來北、 ヒツ散ラカス美方北城崎東、 出石北、養父南、 探ツバカス美方・

城崎西・出石・南と東・養父・朝來北、 クツバカス散在、 コソバカス美方点在・城崎・出石北・朝來南、 轉ロバカス美方・城崎北・38・40・養父東・朝來北、 濡ラカス美方・城崎散在・出石西・養父西・朝來点在、 笑ワカス、カザ(喫)カス、 散ラカス、ダマカス、轉ロガス、カタゲル(担)は全たしまで

行われる。

小便 ションベン・ションベ全、天狗 テンゲン、するめ  
スルメン散在

ありゃあ山ンだらあ、何時ンだらあ、綺麗ンで、とっても好  
きンで、靜かンだ、嬉しそおンだ、餅をなんぼンでも食う、  
大方をおンだらあ、三分の一ンです、苦難の道ンだ等 助辭の  
「だ」「で」の前に軽クンをつける。その分布は第一函のンダ  
ラアと同じい、まだ(副詞)マンダ全。

四、音韻同化

連母音auがa・a:となるのは、言う迄も無く出雲から丹後ま  
で続く同化現象で、たじまを横断して北はa:、南はo:となる。

同類現象を記すと、(上が北、下が南) 出合アターデオオ  
タ、買アテーココオテ 行クサアナ(傳聞)ーソオナ 行キタア  
テ(希望)ートオテ、行キサアダ(様態)ーソオダ、飛バサア  
(推量、意志)ーソオ、ナア(間投助詞)ーノオ、マア早ヤ  
(副詞)ーモオ 見タヤアナ景色(比況)ーヨオナ、無アテー  
ノオテ、片附ケテシマワア(意志)ーシマオオ、咲ヤアトラハ  
(推量)ーセエトロオ、メンダアナ(面倒)ーメンドオナ、ワ  
アチャク(横着)ーオオチャク、バアズ(坊主)ーボオズ、ア  
ハア(阿呆)ーアホオ サアデ(副詞)ーソオデ

これらの境界線は大体に第一函に準じているとも言えるがア  
アタ、カアタは1-55に行われる。au↓a:は昔は養父郡全体に  
あったものか、一段活用動詞が四長化して未然形に「う」がつ

いた時、起キラアー起キロオ、見ラアー見ロオは第一函と同じ  
になる。例外として、田植タアエ美方北。

ou↓o:(揃、洗、拾、思) アロオテ38・54・56-64、ア  
ラアテ散在、一般にアラッテ、子牛 コオジ1-42

ao↓o:直し ノオン25

oi連母音がæ:e:となる分布図は第二函である。蚕 キヤア  
コ、ケエコとなる。裁縫、ぜんざい、大工、逮夜、兵隊、冷い、煙  
たい等二十三語皆同じい。現在e:の地域でも老人はæ:を發音す  
る所が数地点ある。64生野町は書いて、行きたい、賊らまい  
等殆んどはai、さけえ(助詞)行つとんえ等e:と發音するも  
の少しはある。63山口村はe:が少し増すが大半はaiと發音す  
る。

誕生を(テヤア、テエ)ジョオ、も同分布

やいとヤアト美方・城崎・出石、イエエト・エエト養父・朝  
來北、ヤイト63 64

ae連母音がæ:e:となる事も多く分布もaiと同じである。63 64  
はaeそのまゝの發音で轉エズル、苗木、前齒、八重櫻、詠エル  
である。繁盛・三方ではお前をオマア、助詞さかえをサカアと  
云う。

考え カンガネ49、返す カヤス散在

oiをe:と言うのは時計、兵營、雞肉、毛糸、生徒、ゼエタク等  
全たじま同じ、幽霊 ユウレン、葬礼 ソオレン散在

oiをo:(遅)オセエ、(強)ツエエ、(太)フテエ、(重)  
オメエ、(白)シレエ、ひどいヒデエは1-62、(黒)クレエ

1—61で63 64はoi

(泳) オエダ美方・城崎・出石北・養父西と北、他はオヨイダ、(落) オトイタ出石東・57・63・64、他はオテエタ、一昨日オトテエ、オトチイ点在、勢 イキヨイ、イキエエ散在

oeをe: 単衣物ヒ(シ) テエモン、添物セエモン、(燃) メエル等養父以北に点在、其処ヘソケエ山間部

ieをe: (教) オセエル、(消) ケエル、(見) メエル等全たじま

iuを火打石 ヒイチイシ美方北・50 ヒユウチイシ城崎東・養父西、 胡瓜 キユウリ全、 芻賣 キリユウリ養父北

uiをi: 結納イイノオ、(痒) カイイ全、 (寒) サミイ、(熱) アチイ、(古) フリイ、(悪) ワリイ養父以北、手拭 テヌギイ、朔 チイタチ美方・城崎・養父北・出石北、(着) チイタ美方南

風呂敷 フルシキ散在、着る物 キリモノ5・7、 餘部

(地名) アマラベ、養父以北

蕨 ミシロ1・2・15、 踵 キビソ・キビス散在、爲るな

スナナ北、蓮華 ゲンゲ17・59

その他は無い ソオ(ダア) ジャア、 三味線 シヤミセン、 左官 シヤカン、 坐敷 ジャシキ

草履 ジョオリ全、ザアリ散在

五、音韻異化

逆様 サカシマ全、サカシナ散、 寝させる ネカセル散、

破る ヤブク美方・城崎北・養父北、 破れる ヤブケル全、 外れる ハズケル美方北・城崎北、 潰れる ツブケル美方・城崎・出石西・養父、 捻れる ネジケル美方北・城崎北・出石・養父散、 ネジケレル62、 動詞は語法問題でもある。

六、音韻相遇

t d 洗濯 センタク1—14、 誰 ダレ全

k g 河豚 フク養父以北点在、 蟹 ガニ山間、 蛙 ギヤ

アル・ゲエル(ロ)・ガエル、 養父朝來散在、 蟬 ゼミ43

tj d3 (難) ムツカシイ・(恥) ハツカシイ美方城崎海岸、 朝來散在

b m 紐ヒボ、(寒) サブ(ビ)イ、(懶) クスボル、(煙)

ケブテエ(タヤア)、(狭) セベエ(バヤア)、(漏) ボルは全、

腓 コブラ全、コボラ養父西、 襦 シキビ美方以外、(睡) ネ

ブテエ(タヤア) 養父北以北、 胡桃クル(ロ) ビ散在、 鞭

ブチ点在、(淋) サミシイ全、 サムシイ7、 (点) トモス、

全

b w 唾ツワ全、 鐵シバ43

s t (恐) オトロシイ美方

s tj 紫蘇 チソオ散在

d z (撫) ナゼル全、 百足 ムカゼ全、 坐布團 ダブト

ン朝來、 座敷 ダシキ26、 銭 デニ55・59、 絶頂 デツチヨオ

散在

z r 満足にできん マンロク(トク)ニデケン散在、 留守

ヌス10

r n 南天 ナルテン養父以北、ナリテン朝來、昼寢 ヒン

ネ朝來

s r 降りさせよお、ラセヨオ出石東と南・養父南東・朝

來、ラソオ養父西、ラシヨオ美方・城崎・出石散在・養父北と

西・朝來散在

g r 鼻濁音は63に僅かに現れ、64多で北はgaである。

m n 仰向 アオノケ、なめくじ マメクジラ全

h j 一 シトツ散在、人 シト全、質屋 ヒチャ散在、

下 ヒタ城崎散在、行くでしよお、デヒヨオ全

s j, z d s 先生シエンシエ、錢 ジュニ(ネ)美方・

城崎西海岸に多く、出石養父朝來散在、但し一般に近いs発

音である。

s h 知りません全、起きなさる、ナハル

j w (強) ツライ北

j i 醬油シヨオイ、(搖)イサ(ス)ブル・イスル、指

イベ(ビ)は散在、外出着ヨソイキ、(釜)イガム、硫

黄 イオオ、ヨオ、繭 マイ、眉毛 マイゲ、鮎 アイ、か

わゆい カア(ワ)イイは全、忌明 ユミヤキ(アキ、ヤケ)

全、鯛 ユワシ養父以南散在、位牌 ユハイ散在

i e できるデケル、象 エエ、(大)オオケナ、呪 マ

ゼネエ(ナキア)、(穿)ホゼル・ホゼタル、鉛筆 エンペ

ツ、虱 シラメは全、狐 ケツネ散在、煙管ケセル49・57、

人參 ネンジン美方・城崎・出石北、(逃)ネゲル 美方北、

目脂 メヤネ、藪鼠 ヤブネラミ山間、錢 ゼネ美方・城崎、  
(平)ヘラベタイ(テエ、タキア)・ヘベテエ城崎山間・養父・  
朝來

e i 貸シテ、乗シテ、取ラシタ、賦ラシタ、勉強シラレル

全、乗シテエ(タキア)散在、乗エタキア(テエ)点在、鉛

筆 インピツ1、部屋 ヒヤ6、霰 アラリ17、これだけ

ダキ・ダアキ・ダツキ美方・城崎・養父西

e a 起キニヤイケン朝來北以北、イカン朝來南

a o モツト多ク、モハヤスンダは南、マツト、マアハキア

は北、第一函の分布、やもめ ヤマメ散在、(貰)マラウ

城崎・42、ムラウ1-13

o u (遊)アスブ、(數)カズエル全、もぐら ムクロ

モチ散在、モオコロモチ8、兎 オサギ点在、鱧 オナギ

1・34、産着 オブギ城崎西、昨夜 ヨンベ 全、ユンベ

城崎東、虚言 オソ、川うそ カワオソ・カワソ美方城崎

養父散在、偏屈 ヘンコ・ヘンコツ、彼処 アソコ、神主カン

ノシ全、犬 イノ1、狸 タノキ(ケ)山間海岸 懐 ホトコ

ロ、手拭 テノギイ散在、夕立 ヨオダチ1-63、ヨダチ64、

雪ヨキ42、煙管キセロ51・64・蛙 ゲエロ47

i o 田螺タノシ・タンノシ全 眩 マボシイ(セエ)散

u i (動)イゴ(ノ)ク養父以北、(捨)シテル、芥捨

ゴシシテ美方・出石・養父 草苗クサビエ2、蕨 ミシロ1・

2・15、むかご ミカゴ、(洗)スズム、(眩)マブ(シイ、

エ)ソイ散在、(額)フタキア11、フタキアグチ58、(疲)

クタブレル、 淋サブ(サム)シイ全、 ポチポチ(ゆっくり)  
美方

e o 覆 ヨノキ養父以北散在

### 七、音韻轉倒

晦 ツモゴリ (發)ス(コイ、コエ)ケエ全、 戸棚トナ  
ダ、トザナ 身体 カダラ散在、蓬 ヨゴミ(ム)養父朝來、  
出石東

### 八、長音化

未だ マンダ、草鞋 ワランジ、午夢、ゴンボ、ばかり(助  
詞)バツカリ(カシ)、とても(副詞)トツテモ、何時も イ  
ツツモ、(醜)ミッタモ(トモ)ネエ(ナヤア)全、 昨日  
キンノオ全、キンニヨオ散、砂糖 サツトオ美方・城崎北、  
眉間メツケン、田螺 タンノシ北に散在、螢 ホツタル美方・  
城崎・出石北、ホツタルユ美方北、一番イツチバン・イツチヤ  
ン美方・城崎養父北、一つも ヒツツツモ美方・城崎・出石  
北、ヒツツツモ出石南と東・養父・朝來、やはり ヤツパリ全、  
ヤツパシ散、 ヤツボリ15、 それだけ ダアケ美方、ダツケ  
他、手毬 テンマリ養父以南・北に散在、乳母 オンバ北点在  
芹 セエリ、箕 ミイ、紫蘇 シ(チ)ソオ、蒿 トオビ  
全、蛭 ヒイル(古語) 1—63、 黒子 ホオクロ、 涎 ヨ  
オダレ養父以北、雛 ヒイナ、梅干 ウメボオシ、鰻 ツンボ  
オ美方城崎散在、 螢 ホオタル38—64、百合 ユウリ5、

(巻)ホオケル散在、

### 九、アクセント

主に中学高校生徒によって調べ不明の点は教師農商人によつて補った。

地域は全たじま及播但線長谷、寺前、鶴居、福崎、京都府、上、中、下夜久野、福知山を約二千語、播磨國繁盛、三方、奥谷の村々は近畿方言学会のきめたことは、千種村は小学校長小林字一氏の調べであるが、昭和七年大原氏境界線の部分的改正になる。(第二図)上夜久野村と奥谷村引原以北を乙種に、山口村全体を甲種地域に入れる事になる。(詳しくは「近畿方言」誌八号)(水上郡遠坂村神樂村は調査中)。

平板型と上昇型の第一音を「必ず低く始める」と言えるのは1—8、12 13 14等であるが、それも自然の発音に於ては高低何れでもかまわぬ。「低く始めない」と云えるのは、37 出石町以東56—和田山町以南である。中間地帯は色々であつて「第一音の高さによってハッキリした線をひく」事はむづかしい。

一、柄、蚊、子、血、戸、実、身、巢、氣、葦、1—62、上夜久野、引原はエガ、エガ、63以南、繁盛、三方、日野原以南、中夜久野以東はエエガ

帆1 2はホガ 3—63山口以北、上夜、小倉はホガ 63岩津以南、高内以東はホオガ

二、名、葉、値、1—62、上夜、引原はナガ、ナガ、63、小倉はナアガ 63岩津以南、三方繁盛、日野原以南、高内以東は

ナアガ

毛 1—63、上夜、小倉はケガ、ケガ 高内はケエガ 64 以南、下夜以東はケエガ

日 1—11 ヒガ、12—63 山口、上夜、引原ヒガ 63 岩津以

南、三方繁盛、日野原以南、中夜、以東ヒイガ

矢 63 山口以北、上夜、ヤガ、ヤガ 岩津、中夜、ヤアガ、64

以南、下夜以東ヤアガ

齒、双 1—63 山口、上夜ハガ、63 岩津以南、中夜以東ハアガ

三、木、粉、酢、田、手、菜、荷、根、火、穂、目、湯、輪、

山口以北、上夜、小倉、引原キガ、63 三方繁盛、日野原以南、

中夜以東キイガ

尾 1—64 上夜オガ、長谷以南、中夜以東オガ、オオガ

芋 58—62 オガ、北はオガ、オガ 南はオガ、オオガ

絵、五、九、1—55 エガ、56 以東以南エガ、エエガ

一、飴、空き・牛、梅、枝、音、かい(効)、柿、金、風、

釜、顔、雉子、疵、桐、霧、口、頸、鉄、腰、酒、砂、鈴、

底、竹、爪、虎、鳥、庭、端、鼻、羽、箱、腕、ひげ、紐、

筆、星、水、道、1—36 アメガ 他はアメガ

蟻 1—6 12 13 アリガ、他はアリガ、アリガ

二、三、歌、町、足、犬、花、山、草、池、髪、腹 1—62、引

原、ウタガ、ウタガ、他はウタガ

紙、雪、胸、炭、畑、川、旅、音、石、は上中下夜、福知山

カミガ 其他歌と同じ

坂、島、親、塩、皮、波、月、腕、米、昼、指、繩、馬、

耳、村、豆 60 サカガ、其他歌と同じ

舌、上夜シタガ、其他歌と同じ

多、夏 1—9、12—41 フユガ、フユガ、他はフユガ

橋、靴、旗、蛸、雲 1—55 引原ハシガ、ハシガ、他はハシガ

梨 1 ナシガ 2—63 上夜以東ナシガ、ナシガ 64 以南ナシガ

にし、うじ、甲、丙、まり、全、ニジガ

四、麥、笠、松、舟、帶、種 1—63 山口、上夜、引原ムギガ

他ムギガ

板、箸、息、今、針、鎌は小倉イタガ 他は麥と同じ

空、麻 1—64 引原、繁盛、上夜、小倉ソラガ 長谷以南、三

方、千種、日野原ソラガ

五、海、露、桶、影、窓、鯉、雨、赤、秋、猿、猫、前(空間)

春 1—64、繁盛、三方、日野原、上中下夜、福知山ウミガ、

長谷原、以南千種ウミガ足袋、長谷タビガ 其他海と同じ

鶴声、長谷、寺前、ツルガ、57、58 ツルガ、其他海と同じ

蜘蛛、夜、長谷、寺前クモガ 其他海と同じ

一、櫻、車、錨、氷、あくら、漆、貸家、かぶし、田舎、子

供、机、寶、体、魚、柳、手紙、背中、兎、鼠、誠、左、茶

碗 サクラガ、サクラガ

着物 1—46、53 56 58—60 キモノガ、キモノガ 他はキモノガ

昔 1—62 上中下夜、ムカシワ、ムカシワ 他ムカシワ 福崎

ムカシワ

形 1—55、57 カタチガ、カタチガ 56 58 59 61 カタチガ 62 63

64 カタチガ 60、63 以南、上夜以東カタチガ

明日1—長谷、引原、上中下夜、福知山アシタガ、アシタガ、他アシタガ

二、小豆1—62アズキガ、アズキガ、他アズキガ

三、頭、鏡、男、女、話、花見、言葉、夜中、鏡、刀、袴、

東、鉄、醬油、1—62アタマガ、アタマガ 他アタマガ

扇、林、泳ぎ1—62、構え1—62、上夜オオギガオオギガ

四、命1—63上夜、小倉イノチガイノチガ 他イノチガ

柱、涙1—62ハシラハシラ、他ハシラ

五、鳥1—62カラスガ、他カラスガ

雀7—11スズメ 1—6、12—30スズメ 他スズメガ

六、昨夜、1—6231引原、上夜、小倉、ユウベ 他ユウベガ

兜、福崎、鶴居カブト 他カブト

藥 居組クスリガ 他クスリ、クスリ

三音節名詞は型、地域が各語によって異なるので、多くを省いた。

一、賣る、聞く、言う、積む、飛ぶ、買う、置く、振る、増

す、狩る、巻く、泣く、問う、行く、鳴る、寝る、着る、す

る、平板型

二、切る、書く、食う、有る、立つ、待つ、織る、呑む、読

む、降る、持つ、吹く、伏す、会う、取る、勝つ、膿む、來

る、見る、1—62、引原、上夜キル、他キル

三、居る1—64繁盛、引原、上中夜、下夜久野、畑オル 下夜

久野、井田其他オル

一、上がる、当る、送る、遊ぶ、祭る、坐る、笑う、変る、上

げる、明ける、借れる、借りる、捨てる、負ける、変える、  
平板型

二、泳ぐ、返す、動く、なつく、悟る、帰る、投げる、掛け

る、受ける、攻める、1—62、引原、上夜オヨグオヨグ 他

オヨグ

一、良い、1—64繁盛、三方、原、上夜、小倉ヨイ 他ヨイ

ええ、1—62引原、上夜エエ 他はエエ

無い、6364小倉ナイ 其他良いと同じ

一、軽い、甘い、薄い、暗い、赤い、遅い、厚い1—6、12

カルイ 寺前以南カルイ 中間はカルイ、カルイ

赤く1—6、12、アカク 63以南繁盛、三方、奥谷、上夜以

東アカク 中間はアカク

二、白い、青い、早い、近い、強い、若い、長い、古い、暑

い、惜しい、痛い、廣い、深い、濃い、からい、強い、寺

前、原以南シロイ 其他シロイ、シロイ

白く1—62シロク 他シロク

一、明るい、危ない、黄色い、重たい、大きい、1—6アカル

イ 鶴居、福崎アカルイ 他アカルイ、アカルイ

二、嬉しい、氣長い、少い、怪しい、委しい、鶴居、福崎ウレ

シイ 他ウレシイ、ウレシイ、

一〇、語法 (音韻の項に渡れたものを記す)

自称代名詞ウチ女性全 コチグチ美方 城崎 ウラ養父以北

オラ美方南、城崎南以南、 オレ1—62

一段活用動詞の四段化は大正四年の養父郡誌の「起キロオ」が文献として最も古い。連用形は発生していない。着ル、煮ル、立テル等すべての一段動詞に四段化の傾向が見られる。特に立テレ命令形を63 64では立チレと言ひ。49横行では「立チリモ道イモ」と云ふ。

分布は朝來養父出石(41字久畑を除く)城崎(33、16、12を除く)が主で、美方でもボチボチ行われつつある。

ナ行変格動詞の残存も見られる。終止連体形任(死)ヌルは64以外に廣く行われるが、仮定形任ヌリヤアは16 12 22 25 44 54、死ヌリヤアは37 54 55 60の各町村の内交通不便の字に残存し、一般に任ニヤア、死ニヤアを用いる。

自發動詞思エル、1—63 可能動詞寢レル、起キレル1—62 借りるカレル(下) 貸す、カセル(下)全 四段の一段化

マイ(推量)の發音は第二函の通りで、その接続は特に多様で知ラメエ1—62知ルメエ城崎東、出石南と東、養父南と東、64、知ロメエ出石東、朝來南、読マメエ美方、城崎、出石北、養父、朝來北、読ムメエ美方北、城崎東、養父、出石北、56—63、読モメエ出石東と南、蹴ラメエ全、蹴ルメエ点在、蹴ロメエ出石南と東、養父散在、朝來散在、着メエ全、着ルメエ城崎東と北、養父西、朝來北と64 勉強セメエ全

意志、推量の助動詞「ウ」が一段動詞に接続した古形、見エウ、下リユウ、ニユウ(寢)等が7—11、29—34、42、43、46—49に残り、その外に廣くミョウウ、オリヨオ、ネヨオが行わ

れ、助動詞「よう」を意識した見ヨオ、下リヨオ、寢ヨオは54—64で用いられる。しかし古形は次第に衰えつつあり30では老人のみ用ひ、青壯年は外側の拗音形になったり、四段化を用いたりしている。カ變動詞に接続したコオを普通に用ひるのは1—62で63 64で殆んど用ひない。サ變動詞に接続したシヨオ全 傳聞助動詞そりだ、ゲナ全、例行クゲナ

樣態そりだ、サゲナ美方城崎、出石西、42 43、例行キサゲナ、

進行態降りヨル、は城崎山間部以外の全たじま、進行と完了態両方に降ツトル、全

比況のようだミテエ、ミタヤア、1—61、ミタイ62 63 64、

格助詞カラを一般用法以外に廣めて、場所を指示する「で」と同様に用ひる、山カラ弁当食ツタ、川カラ水浴ベタ、「着物ヲドコカラ着タ?」「部屋カラ着タ」分布は1—20、23、29—34、37、39—53、55、はりま引原以北でも用ひられる。

理由助詞ケン1字居組 ケエ1—6、12、七町村 シケエ、シキヤア7—11、13—39、42—48、50—53、55、62 サケエ、サキヤア39、40 41、47—64、スケエ、スキヤア15、30、38、39、41、43、51、55、混用町村では北はシが多く用ひられ南はサが多い。シとスは無声化して居る。アクセントは64行クサケエ、63行クサケエ、62以北は行クサケエ、サキヤア、シケエ、スケエ等尻重になっている。

3大庭村の山奥、池平部落で「行クサキヤア待ツトツテオケレ」と上方振りが行われる。美方郡の農山村では毎年冬四ケ

月間上方に出稼ぎして家には老人、主婦、子供が残る風習があるが、池平は全戸六戸で、足腰の立つ者は老人でも上方行きをする爲にこの大切な助詞の離れ島ができたのである。

4 温泉町は一般にケエだが南端、春來部落は峠の頂上にあり南化してシキアを用いる。

接続助詞泣きながら(同時、反戻)ナキモツテ全

副助詞絵など(例示、漠然)ナンカ全、入物ごと、ゴメ美方、城崎、出石北、養父、朝來北、ゴシ15、ナリ城崎南、トメエ美方南、城崎南西、養父北西、

終助詞見たいか(疑問、反語)ケエ、キア1—63、カナ64

終助詞「よ」に当る「デ」は「とつても色が黒れえデ」等やさしくていねいに念を押すことばで、全たじまに行われる。

「ゾ」はやや強い氣持で一般に用いられるが、同じ氣持で「ゼ」7—11、23、24、32、33、44、45、46、「ジョ」46字関宮—54字朝日、「ド」54字林垣—62、が用いられる。特にジョは注意をひき「大屋のジョオ〜言わめゃあジョオ、又言ったジョオ悪ありいジョオ」と囃される。

上方型のドが山陰線に沿うて養父郡を東寄りに北上しジョを東西に分ける分布地図は第一図の蛇を貫く矢に似ている。

間投助詞それはねソレワナン、タ、1—62

—兵庫縣豊岡高等学校教官—